



種 別	市指定 無形民俗文化財
名 称	おくないかぶき 奥内歌舞伎
指定年月日	平成15年1月16日
所 有 者	奥内歌舞伎保存会

明治20年代、江戸歌舞伎役者によって伝承された。大衆娯楽として「芝居」と称し、若者仲間によって演じられていた。後継者不足、地域の過疎化等が進み一度上演が途絶えたが平成9年に復活し、現在は子どもから大人まで地域をあげて上演している。

伝承している演目は8演目ある。大道具や小道具は自分たちで作成し、かつらは本格的な物を使用している。

毎年1月下旬に新春公演を開催し、多くの観衆を魅了している。